

西蔵王(春～夏)



やまがた自然散策ガイドマップ



山形市環境部環境課

〒990-8540
山形市旅籠町二丁目3番25号
TEL: 023-641-1212 FAX: 023-624-9928

西蔵王で見られる動植物



＜ミヤマウグイスカグラ＞

太平洋要素植物で、西蔵王地区では普通に見られる植物です。春一番に花が咲き、6月頃に赤くて甘い実を付けます。ウグイスカグラは鶯が神楽を踊って舞い遊ぶところで、藪を意味します。(花期4月～5月)

西蔵王地区には三本木沼をはじめとする湖沼群があり、イヌタヌキモも沢山自生しています。葉の脇に補虫袋を持ち、プランクトンなどを捕食する食虫植物です。夏に黄色い花を付けます。

(花期8月 国版絶滅危惧Ⅱ)



＜イヌタヌキモ＞



＜キタコブシ＞

頭部の口ヒゲが前方に突き出ており、一見テングの鼻のように見えることからこの名前が付けられました。成虫で冬を越すので、春の暖かい日に一番先に現れる蝶です。幼虫はエノキ、エゾエノキを食べます。

太平洋側に多いコブシの雪国型と言われ、葉も花も一回り大きく、見ごたえがあります。全体的にはタムシバより少ないですが、西蔵王地区ではキタコブシのほうが多く自生します。



＜テングチョウ＞

西蔵王で見られる動植物



＜カワセミ＞

頭から翼の上面、尾は青色がかった緑色をしています。平地や低い山地の川や湖沼などの水辺に生息しています。空中でホバリングし、水の中に飛び込んで魚を捕らえます。(留鳥・漂鳥)



＜シュレーゲルアオガエル＞

一帯に点在する池沼の岸や水田の畦などに産卵します。背面の皮膚は平滑で、腹面は淡黄色をしています。鼓膜周辺は黒くならず、眼の虹彩は黄色で赤みを帯びていません。



＜モリアオガエル＞

池沼の水面上に伸びた木の枝に、泡に包まれた卵塊を産み付けます。背面の皮膚は、顆粒状突起でざらついており、鼓膜の周辺に黒色模様がでます。虹彩は、赤みを帯びて橙色をしています。